

## 雑誌「Earth, Planets and Space」の open access 化と今後の展望 ”Earth, Planets and Space”: Transition into Open Access publication

小川 康雄<sup>1\*</sup>; 小田 啓邦<sup>2</sup>

OGAWA, Yasuo<sup>1\*</sup>; ODA, Hirokuni<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 東京工業大学, <sup>2</sup> 産業技術総合研究所

<sup>1</sup>Tokyo Institute of Technology, <sup>2</sup>National Institute of Advanced Industrial Science and Technology

欧文学術誌 Earth, Planets and Space (EPS 誌) は地球電磁気・地球惑星圏学会, 日本地震学会, 日本火山学会, 日本測地学会, 日本惑星科学会の 5 学会によって共同出版されている地球惑星科学分野のジャーナルである。EPS 誌は Journal of Geomagnetism and Geoelectricity および Journal of Physics of the Earth の 2 誌の後継誌として 1998 年に創刊された。EPS 誌では 5 学会のカバーする地球電磁気学・超高層学・宇宙科学・地震学・火山学・測地学・惑星科学を中心とした論文の投稿を受け付けている。EPS 誌は平成 25 年度の研究成果公開促進費「国際情報発信力強化」で 5 年間の出版事業計画のサポートをうけつつ、2014 年 1 月からオープンアクセス出版が実現した。様々な広報活動や雑誌のホームページなどによる visibility の向上によって、2014 年の投稿数が 297 件に達した。これは前年比で 5 割増になる。投稿から出版までは平均 6 ヶ月であり、2013 年の IF は 3.06 を達成した。letter を重視する編集方針で、letter の投稿料 (APC) を低く抑えている。良質の論文の投稿を促すために、編集委員あるいは 5 学会から推薦された著者に Frontier letter という投稿料無料のカテゴリーを設定している。また、特集号についても積極的に提案を受け付けており、これまでに 10 件もの特集号が立ち上がった。特集号によっては 5 学会に関連する周辺分野の論文も数多く掲載され、雑誌のスキームの広がりを見せている。

2016 年 1 月以降のできるだけ早い時期から日本地球惑星科学連合と共同で連携しながら出版を行う予定である。講演では、将来の雑誌の運営方針についても述べる。

キーワード: Earth, Planets and Space, オープンアクセス, 研究成果公開促進費, ビジネスモデル転換, 学術出版社, 学術出版社

Keywords: Earth, Planets and Space, open access, Grant-in-Aid for Publication of Scientific Research Results, business model transition, academic publisher, scholarly communication